

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2022年2月5日

事業所名 ほがらかファミリー音羽

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○		やや狭く感じる場合は、4月オープン予定の広い事業所を使っている。
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		安全面については考慮しているが、子どもたちが日常生活の中での体の動かし方をおぼえるために、すべてがバリアフリー化しているわけではない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現時点では、外部評価を行なう必要性がない。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		必要と思われる研修を紹介し、希望者を募ったり、勧めたりしている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		使いやすさを考慮したオリジナルのものを作成して使っている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		空き時間に職員同士が話し合いやすい環境を作っている。	
	13	平日、休日に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		学校の行事などによる子どもの状況に合わせた支援を行なっている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		集団活動の場合、それぞれの子どもの特徴を考慮して組み合わせを考えている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		メイン担当者が、記録をまとめる時間を設けている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が出席している。	
	21	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		医療機関に行った際には、極力、保護者からその時の様子を聞くようにしている。

関係機関や保護者との連携	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		必要があれば情報共有ができるようにはしている。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		まだ、該当する利用者がいない。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		情報交換会や研修には、極力参加しているが、連携まではしていない。
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		事業所のイベントで、他の子の兄弟たちと触れ合う機会を設けている。
	26	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して支援を行っている	○		電話や対面で、事業所内保護者支援を行っている。	
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	30	保護者同士の連携を支援している	○		事業所のイベントを通じて保護者同士が交流できる機会を設けている。	ただし、感染症予防のためイベントを縮小、交流の機会が減った。
	31	子どもや保護者からの苦情について、迅速かつ適切に対応している	○			
	32	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月に1回、会報を発行している。	
	33	個人情報に十分注意している	○		写真の取り扱いについて、同意書を得ている。	
非常時等の対応	34	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	35	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	○		事業所のイベントでは、地域の協力者を招待している。	
	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			必要性を感じる部分から、マニュアルを作成していく。
非常時等の対応	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回、行なっている。	
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			食事は提供していないので、対応はしていないが、情報としては把握している。